

平成13年度

循環型社会推進功労事業所に対する知事表彰受賞者

有限会社淀江清掃社 (米子市)	<ul style="list-style-type: none"> 昭和50年、一般廃棄物処理業者として創業、し尿の適正処理を行い、地域社会に貢献し、下水道汚泥の堆肥化について技術協力を行った。 平成9年、容器包装リサイクル法が施行されると同時に、市町村に先駆けて淀江町に協力し、分別回収体制を整えた。
因幡環境整備株式会社 (鳥取市)	<ul style="list-style-type: none"> 昭和41年、一般廃棄物処理業者として創業、昭和61年、産廃処理業の許可を取得し、平成13年度に県が創設した「リサイクル技術共同研究助成事業」の対象として石膏ボードの再利用の研究に当たる。 平成10年に、ISO14001の認証を取得したが、環境6分野の認証取得は産業廃棄物処理業者としては初の快挙とされる。

平成14年度

環境事業功労者知事表彰受賞者

こばやし まさはる 小林 正晴 (有限会社山陰浄化工業) (鳥取市)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に対する浄化槽の啓蒙と水質浄化意識の啓発に努めるとともに、会員の資質の向上等業界の発展と地域環境の維持、保全に多大な貢献をした。 H12年の鳥取県西部地震においては、率先して浄化槽等の被害状況パトロールを行なうなど、早期復旧に尽くした。 鳥取県浄化槽協会理事25年勤続
にしむら あきしげ 西村 昭重 (株式会社クラエー) (倉吉市)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に対する浄化槽の啓蒙と水質浄化意識の啓発に努め、浄化槽から発生する汚泥のリサイクルを始め地域の環境保全に貢献した。また、会員の資質の向上等業界の発展と地域環境の維持、保全に多大な貢献をした。 H12年の鳥取県西部地震においては、率先して浄化槽等の被害状況パトロールを行なうなど、早期復旧に尽くした。 鳥取県浄化槽協会理事25年勤続
おおかわ のりひさ 大川 紀久 (倉吉環境事業有限会社) (倉吉市)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に対する浄化槽の啓蒙と水質浄化意識の啓発に努め、浄化槽から発生する汚泥のリサイクルを始め地域の環境保全に貢献した。 また、会員の資質の向上等業界の発展と地域環境の維持、保全に多大な貢献をした。 鳥取県浄化槽協会理事25年勤続
かわばた かなえ 川端 香苗 (ダイケン産業有限会社) (江府町)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に対し、汚水の水質浄化意識の啓発に努め、浄化槽の適正な管理及び普及、促進を図るなど地域環境の改善に積極的に取り組んだ。 H12年の鳥取県西部地震においては、率先して浄化槽等の被害状況パトロールを行なうなど、早期復旧に尽くした。 鳥取県浄化槽協会理事25年勤続

以下、循環型社会推進功労者等に対する知事表彰受賞者

西尾信治 (フジ化成工業株式会社 代表取締役) (伯耆町)	<ul style="list-style-type: none"> 全国の製造段階で排出される廃磁気テープの半分以上をリサイクルしており、その取扱量により社会貢献度が高い。 廃プラスチック類のリサイクル技術の研究開発を継続し、付加価値の高いリサイクル製品(電磁波吸収製品)を製造し、リサイクル活動の先鞭性を有する。 繊維が含まれているゴム廃材から防音材を生成する国内唯一の企業である。
門脇季美枝 (有限会社山陰クリエー ト代表取締役) (米子市)	<ul style="list-style-type: none"> 市町村の分別収集、量販店等の事業者の自主回収等と連携して、廃発泡スチロールを油化還元処理し、地域の廃棄物削減に貢献。 廃プラスチック類のリサイクル製品(運搬パネル、養殖用筏、タルキ材等)は、従来の木質製品の廃棄物の減量等に大きく寄与。
吾妻商事有限会社 (岩美町)	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の焼却灰等の溶融施設を率先して設置し、溶融スラグを有効利用するなど、廃棄物の適正処理と再生利用の促進に貢献。

平成15年度

<p>倉吉資源リサイクル事業協同組合 (倉吉市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資源回収事業協同組合を県下で最初に設立し、再生資源の規格統一化・高付加価値を実現し、地域における古紙等の資源化及び回収業者の経済的・社会的地位の向上に寄与。 環境保全の教育文化的機関でもありたいと県内外から多数の事業所視察を受け入れ、高い評価を受けるとともに、ごみの減量・リサイクルをアピール。「ほうきリサイクルフェア」の中心メンバーとして活動する等普及啓発活動に尽力。
<p>柿原炭生産組合 (江府町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集落内の全戸が協力して造林事業と竹の間伐、竹炭の製品化(脱臭剤、台所用洗剤等)に取り組み、10年の長きに渡り地元量販店等で販売。 竹炭を用いた新製品の開発によるリサイクル事業への貢献とともに、中山間地域の活性化に寄与。

平成16年度

<p>いくた ひろのぶ 生田 裕宣 (米子市公民館連絡協議会 会長) (米子市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 米子市内の公民館で、住民からペットボトルのキャップを回収し、同市内の企業でリサイクル建築資材の原料とする活動の立ち上げにリーダーシップを発揮し、全公民館をまとめあげた。 行政主導ではなく、住民発意の取り組みの輪を広げ、現在その輪は、県内の学校、企業はもとより県外の学校にも広がりを見せている。
<p>株式会社 テクニカルクリーン (米子市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 創業以来一貫して自動車のリサイクルに熱意を傾け、使用済自動車の解体から破砕の前処理段階までの一貫したリサイクルシステムを構築。また、商品化できる部品は、できる限り再生部品として再生することに努め、海外にも輸出するなど山陰随一の解体台数を誇る。 平成17年1月本格施行となる自動車リサイクル法に対応した適正な解体処理を以前から実施、またISO14001を認証取得。
<p>因幡環境整備株式会社 (鳥取市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 台風の影響による大雨により発生した智頭町市瀬集落の床上浸水等の災害に際し、翌日午後には智頭町役場の情報から自主的に応援の必要ありと判断し、ボランティア従業員を現地に派遣。さらに翌日には、ボランティア体制を強化。 代表取締役自ら陣頭指揮を執り、被害に遭われた民家の床板や畳起こし、家財道具の持ち出し、食器洗い等積極的に活動。また災害により排出された廃棄物を市瀬集落内に設置された廃棄物仮集積場まで人力により運搬する等の活動を実施。

平成17年度

<p>鳥取県西部再生資源事業協同組合 (伯耆町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県西部地区の再生資源を取り扱う事業者が連携し、窓口を一本化したことで、メーカーへのスムーズな供給体制を確立。廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進に大きく貢献。 環境関連イベントへの積極的な参画支援、職場体験学習としての中学生の受け入れ等、循環型社会構築に向けた普及啓発に取り組む。 平成16年9月にISO14001を取得し、協同組合内の廃棄物排出量の削減、資源の有効利用に取り組む。
<p>株式会社鳥取再資源化研究所 (北栄町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県中部地区の廃ガラス瓶を原料とし、水質浄化材、防犯砂利等として再商品化。廃棄物の減量化及び最終処分場の延命に貢献。 水質浄化材は、東郷湖の水質浄化実証試験に利用され、浄化効果が確認されている。 老人ホーム、小学生等の工場見学を通してガラス瓶のリサイクル、有効利用の普及啓発に取り組む。
<p>三光株式会社 (境港市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 長年にわたり廃プラスチック類、木くず、紙くず等幅広い廃棄物を取り扱い、廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進に尽力。 県外処理せざるを得なかった廃タイヤを処理する施設を平成17年2月に整備し、ボイラー燃料としてリサイクルすることを可能にした。これにより県内リサイクル率の向上に大きな効果が期待できる。 金属鉄粉の有効利用法の研究に取り組み、電磁波吸収能を有するガラス発泡体を開発。これにより建築材料等に限定されていたガラス発泡体の用途拡大(電子レンジ用鍋等)に貢献。

平成18年度

以下、鳥取県循環型社会推進功労者知事表彰受賞者

<p>株式会社細田企画 (南部町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃石膏ボードの分別処理機を独自開発する県内有数の企業であり、処理後の廃石膏をリサイクルする上で重要な不純物を除去する仕組みについて特許を取得。 ・ 当該処理機は、全国で170台を超える機械が稼働しているとともに、県外で開催されるNEW環境展等大規模な展示会に積極的に出展し全国的な販売普及に努めている。
<p>北栄町婦人会 (北栄町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 割り箸及び牛乳パックの回収に取組み、平成18年度からは回収品目にペットボトルキャップ回収品目に追加するなど、ごみ減量化・リサイクルに貢献。 ・ 年4回の資源回収前には町放送の原稿を作成するとともに、事業所を個別に回り協力を呼びかけている。
<p>三朝町立東小学校エコ委員会 (三朝町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成12年4月から学校内で割り箸回収を開始するとともに、町内の旅館に働きかけ、一部の旅館において割り箸回収活動が始まるなど、取組を地域へも広げている。 ・ 町立東小学校が取得したTEAS(平成15年2月時点では、取得校4校)の取組において、三朝町立東小学校エコ委員会が中心的役割を担い、子ども環境活動項目点検表の配布及び取りまとめを行っている。

平成19年度

<p>NPO法人エコパートナーとっとり (米子市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者施設(もみの木園等)と協働し、家庭や飲食店等から出る廃食油を回収し、BDFを精製。 ・ 加茂川のヘドロを農業用の改良土壌とし、地元農家で菜の花等の試験栽培を実施。 ・ 地元の川の状況についての授業、ヘドロから作られた改良土壌を用いた学校の花壇で園芸を实践。
<p>鳥取県立米子南高等学校家庭クラブ (米子市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成15年度にTEAS種を取得し、環境配慮活動を展開。 ・ エコアジア2004をきっかけに、地元小学校へ廃油キャンドル出前講座の講師をつとめるとともに、毎年「米子市環境フェア」に参加し、リサイクルをテーマに環境学習を行っている。 ・ 平成18年度にマイバッグ大作戦を実施し、独自のマイバッグを作成し地域に提供するなど、マイバッグの普及に尽力。

平成20年度

<p>倉吉環境事業有限会社 (倉吉市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1市3町(倉吉市、湯梨浜町、琴浦町、北栄町)の家庭や飲食店などから排出される廃食油をリサイクルするシステムを構築。自社の収集運搬車及び市町の公用車等の燃料として利用し、循環型社会の推進に貢献。
<p>長谷川武司 (米子市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「鳥取県認定グリーン商品普及促進協議会」会長として、県内外で県認定グリーン商品のPR活動を行い、リサイクル商品の普及促進に貢献。 ・ また、「とっとり環境ネットワーク」の「4R推進グループ」コーディネーターとしての環境教育の取組みや「西部地域ノーレジ袋推進協議会」会長としての協議会の運営等を通じ、ごみ減量化及び地球温暖化防止に貢献。
<p>皆生温泉旅館組合 (米子市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各旅館から発生する使用済み割り箸を、製紙原料として活用するシステムを王子製紙米子工場と協働で構築。現在、この取組みは学校や飲食店等へ広がっている。 ・ また、各旅館から排出される廃食用油をNPO法人「エコパートナーとっとり」に提供し、製造されたバイオディーゼル燃料を送迎用バス等の燃料に利用し、循環型社会の推進に貢献。
<p>株式会社エコマ商事 (米子市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラスチックを原材料としたリサイクル製品「エコマウッド」を製造するとともに、屋上緑化施設や野外ステージなど多様な用途開発を行い、県内外で普及拡大を図っている。 ・ また、「PETボトルキャップを救え！」運動を通じ、全国約200ヶ所からキャップの回収を開始。この運動は学校や企業の環境学習としても活用されている。

平成21年度

<p>鳥取県立 鳥取湖陵高等学校 食品システム科 生産流通コース (鳥取市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度から湖山池周辺のボランティア活動を実施。 水質悪化の原因となるヒシを堆肥として利用する研究を進め、池の浄化に貢献。
<p>鳥取大学環境意識 向上サークル^{えごころ}心 (鳥取市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度から大学祭等のイベントでごみ分別活動を実施し、廃棄物の減量化に貢献。 ごみ分別を訴える映像を自主制作して入学式で上映し、新入生への環境教育を実施。 周辺地域の小学生を対象にごみの分別等の環境学習会を実施。
<p>有限会社赤碕清掃 代表取締役岡崎博紀 (琴浦町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東伯郡内の代表的な一般廃棄物処理業者として長年にわたり、し尿収集等を営む。 平成18年から木質ペレット燃料の製造販売を開始、ペレットボイラーの普及に貢献。
<p>向井哲朗 (彦名地区チビッツ環 境パトロール隊代表) (米子市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> チビッツ環境パトロール隊代表として、環境教育、市民の意識啓発活動等に尽力。 使用済み割り箸を回収し、紙に再生する取組、廃食用油をバイオディーゼル燃料に精製する取組などを展開し、循環社会の構築に貢献。
<p>衣川益弘 (鳥取環境大学教授) (鳥取市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年度から「グリーン購入とっとりネット」事務局として、講演会、エコイベント等を通じて県民を対象とした環境教育を実施。 民間企業と共同でハンダの再生利用技術について研究し、特許を取得。

平成22年度

<p>鳥取市消費者団体 連絡協議会 (鳥取市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 昭和50年設立当初から不要交換会(現・フリーマーケット)を毎年開催しているほか、ごみの分別学習会、エコマーク商品の展示即売会を開催するなど、4Rを推進。 風呂敷包み講習会や街頭でのノーレジ袋推進などを積極的に行っている。 リサイクルファッションショーやリサイクル音頭などリサイクルのユニークな取組を実施。
<p>三朝温泉観光協会 (三朝町)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 温泉旅館、保育園、調理センター、三朝温泉病院から出る食品残さを収集し、生ごみ堆肥化施設で堆肥化しており、可燃ごみの減量に貢献。 温泉旅館、保育園、調理センター、集落、病院、飲食店等40カ所から集めた廃食用油をバイオディーゼル燃料として精製し、旅館送迎用バス、ごみ収集車、フォークリフトで活用しており、循環型社会づくりに寄与。
<p>鳥取県立境港総合 技術高等学校 (境港市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会・福祉科が中心となりペットボトルキャップ、アルミ缶タブ、割り箸のリサイクルに取り組むほか、機械科ものづくり班によるごみストッカー制作、食品科による廃食用油からの廃油石けん作り、海洋科の漂着ごみ問題の検討など各学科の特性を活かした循環型社会づくりの活動を展開。 平成21年度には鳥取県版環境管理システム(T E A S) 種を取得し、学校全体で環境活動に取り組んでいる。